

## 会議議事録

会議名	2021年度第1回医療事務分野教育課程編成委員会
対象学科	医療秘書科・医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科
開催日時	2021年7月6日(火) 15:00~16:50
場所	本校4階 406教室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：須貝和則(国立国際医療研究センター医事管理課長)、直井智之(東大和病院事務部長) (計2名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、村山由美(医療秘書科学科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長)、三宅かおり(医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科学科長)、川畑亮子(医療事務IT科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科副学科長)、江崎侑子(診療情報管理専攻科教員)、稲垣史絵(企画室)、榊原幸之(事務局長)、(計8名)</p> <p>③ 事務局：土屋瑠美子</p> <p style="text-align: right;">(合計11名)</p>
欠席者	梅里良正(有識者委員)、山室 靖(東京衛生アドベンチスト病院医事課課長)
配付資料	<p>①事前送付：資料1：2020年度第2回医療事務分野教育課程編成委員会議事録案、□資料2-1：2020年度学科運営計画の年度末点検報告(抜粋)、□資料2-2：2020年度第2回員回以降の主な経過報告、資料2-3：2020年度就職状況報告、□資料3：2021年度重点目標と達成するための計画・方法、□資料4：2021年度教員研修計画・実績、□資料5：2021年度学科運営計画、資料6：2022年度カリキュラム(案)</p> <p>②当日配付：2021年度医療事務分野教育課程編成委員会名簿</p> <p>③印刷物資料：2021年度講義要項(当日配付)、2022年度学校案内(当日配付)</p>
委員長	三宅学科長
議題等	<p>1. 事務局より今年度委員の確認 新任の本校委員の紹介が行われた。</p> <p>2. 校長挨拶 橋本校長より、新型コロナウイルスの感染拡大は予断を許さない状況が続いている。本校は感染防止対策を十分に講じた上で原則として対面授業を実施している。オンラインに適した授業が多い学科は通常で週2日、緊急事態宣言中は週3日のオンライン授業を行っているが、医療事務分野はなかなか難しい。実習については予定どおりの進行が困難なので、期間の短縮や代替授業で乗り切りたい。しばらくは教育上も判断が難しいものがあると思うが、委員の皆様には専門家の視点からの貴重なご意見を賜りたい、との挨拶が行われた。</p> <p>3. 前回委員会議事録の確認(説明者：事務局土屋) 前回議事録(資料1)について、変更等がないことが確認された。</p>

4. 2020年度第2回委員会以降の主な活動報告等について

(1) 2020年度年度末点検報告（説明者：橋本校長）

(2) 2020年度第2回委員会以降の主な経過（説明者：榊原事務局長）

資料2-1～2-3に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

5. 2021年度の重点目標と達成するための計画・方法について（説明者：橋本校長）

資料3に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

6. 2021年度教員研修計画・実績（説明者：三宅学科長）

資料4に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

7. 2021年度の教育活動と学科運営、計画等について（説明者：村山学科長、三宅学科長、江崎教員）

資料5に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

8. 2022年度生カリキュラム編成等について（説明者：村山学科長、三宅学科長）

資料6に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

9. 次回日程、その他

事務局より、次回の日程は2月頃とし、日程調整はメールで行いたいとの説明があり、了承された。

以上

## 2021 年度第 1 回医療事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

### 4. 2020 年度第 2 回委員会以降の主な活動報告等について

(1) 2020 年度年度末点検報告（重点目標と達成するための計画・方法について）（資料 2-1）

○橋本校長より、資料 2-1 に基づき以下の報告が行われた。

1. T P C の育成と強化: コロナ禍を一つの転機と捉え、教育を学生目線で見直すことに意を注いだ。  
転科が可能な仕組み、入学者目線での教育の見せ方などを含めて学科の再編を試みている。
2. 学び直し等の教育のプログラムの開発: コロナの影響でほとんど進展しなかった。
3. ビジョンの共有とアクションプランの策定: コロナ禍により組織内のまとまりが促進された。

(2) 2020 年度年度第 2 回委員会以降の主な経過（資料 2-2、2-3）

○榊原事務局長より、資料 2-2、2-3 に基づき以下の報告が行われた。（詳細は省略）

1. 学校関係者評価委員会関連
  2. 2020 年度学生の状況関連
    - (1) 退学者数
    - (2) 就職活動結果
    - (3) 専攻科への進学状況(2021 年度生)
- 2020 年度就職状況報告（最終）

### 5. 2021 年度の重点目標と達成するための計画・方法について（資料 3）

○橋本校長より、資料 3 に基づき以下の報告が行われた。

1. T P C の育成と強化: 学生目線での学びを考え、自ら学ぶ習慣を身につけさせたい。
2. 新たな入学者層を対象とする教育プログラムと学びのサポートプログラムの開発: 社会人や学び直しの方を対象とした学習内容の開発、留学生教育の充実を目指す。
3. 入学者定員の充足: 定員充足のため、入り口を強化する。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>病院も病床稼働率が 7 割になると厳しい。この機会に新たな入学者層を対象とするプログラムに挑戦することに同感する。社会人はオンラインでないと集まらないのではないか。</p> <p>コロナ禍で地域の医療の提供の仕方も変わってくる。病院もいかに新しいことを生み出すかが課題になる。</p>	<p>ご意見として伺った。</p>

### 6. 2021 年度教員研修計画・実績（資料 4）

○三宅委員長より、資料 4 に基づき以下の説明が行われた。

- ・オンラインでの開催が増えた。その分現場で交流する機会がなくなることを懸念している。

- ・昨日、教務委員会主催の講演をオンラインで行った。(テーマ:「大学・専門学校における新型コロナウイルス感染防止対策」)

## 7. 2021 年度の教育活動と学科運営、計画等について

### ◎医療秘書科

- 村山学科長より資料 5-1 に基づき以下の説明が行われた。

#### 教育活動

- ・本年度は感染対策を十分にした上で、対面、オンライン、オンデマンド等、適切な教育活動の形態を意識して活動を進めたい。

- ・昨年の反省を踏まえ、キャリア形成において必要とされる行事はできる範囲で実施した。

例) 1 年生入学初期の実務者講演会、2 年生対象の卒業生によるキャリア報告会はオンラインまたはオンデマンドで、模擬面接会はウェブ面接体験に切り換えて実施。

- ・2 年生の前・後期の科目である「カルテ読解」は、他の専門科目との連携を図る科目という位置づけで対応を進めている。

- ・1 年生の「社会人基礎」は、学生の社会人化を推進するため内容を大幅にリニューアルした。具体的には、経済産業省が提唱する 12 の能力要素に「ビジネスマナー」、「一般教養と時事」、「コミュニケーションスキル」をプラスし、1 年生の一般科目にある「秘書実務」「ホスピタリティ」「ペン字」などとの連携を図るとともに、本校の T P C を具現化する科目として進めている。

#### 学科運営

- ・授業及び個人面談を対面またはオンラインで早期に実施した。
- ・コロナ疲れがみられるので、保健室、学生相談コーナーと連携し、丁寧にサポートしていく。
- ・サイボウズなどを利用してリアルタイムの情報公開に努めている。

### ◎医療事務 I T 科・診療情報管理科・医療マネジメント科・診療情報管理専攻科

- 三宅学科長より資料 5-2～5-5 に基づき以下の説明が行われた。

#### 教育活動

- ・昨年の 1 年生はオンライン授業の導入で友人関係の構築が遅れたため、今年の 4 月は登校での対面授業を中心に実施した。2 年生以上は進路により週 1 回または 2 回のオンラインと対面を併用してスタートした。

- ・緊急事態宣言を受け、5 月から 1 年生は週 1 回(月曜日)の登校不要日を設けた。2 年生以上は週 1 回をオンライン授業、専攻科は週 2 回をオンライン授業として継続している。

- ・医療事務 I T 科は、今年は新しい科目はないが、2022 年度(2 年次)には「情報セキュリティ論」などの新科目を設定している。

- ・行事等は全て医療秘書科と同じ形で行っている。

#### ※2 年次の病院実務実習について

- ・実習の依頼をしても 4 割程度は断られる難しい状況であったが、実習先は確保した。
- ・今年はコロナ状況下であったが、ほとんどの病院で実習を受け入れていただいた。
- ・実習にプラスして、実習代替授業の一部を充当して単位を取らせる予定である。

- 江崎教員より、実習について以下の補足説明が行われた。

- ・今回は短縮した実習になるので、代替授業として卒業生による職業体験を含めた業務説明を行いたい。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>①「カルテ読解」は、どういう教材を使われているのか。採用する側としては、教材に診療情報提供書があると幅が広がると思う。</p> <p>②実習に行くことに家族が反対するということが、そういうところに就職をするという認識を持たせることが必要だと思う。</p> <p>③医師事務作業補助者で採用した者が、自分がイメージしていた仕事ではないことを理由に辞めた。専門教育を教えつつも、これは将来的に必要な知識だということを教えられるとよい。</p> <p>①今年の実習が始まったが、各職種とも実習の希望者が多く日程調整に苦労している。</p> <p>②イメージしていた仕事と違うことを理由に辞める人はどこへ行っても同じ。いろいろなことを経験すること、ある程度の我慢の先に成功があることを教えることが大事かと思う。</p>	<p>① 医療秘書検定の問題を主に使っている。</p> <p>③今年卒業した学生は実習に行っていないので、具体的な仕事のイメージが不十分で離職者が多いと聞いた。実習の意義を改めて感じている。</p> <p>管理士実習の時、2年次に病院実習ができていないことを担当者に話すと、多くの病院で他部署も見せていただく配慮をいただいた。</p> <p>②肝に銘じる。</p>

8. 2022年度生カリキュラム編成等について（資料6）

◎医療秘書科

○村山学科長より、資料6-1に基づき以下の説明が行われた。

- ・現時点で変更を検討しているものは、数はかなり多いが、内容は科目名や配置の時期の変更である。
- ・新規に追加を検討しているものは「社会人基礎C」で、1年次に配置しているAとBの仕上げ学習として考えている。形式としてはオムニバス型授業を取り入れてみたい。
- ・パソコン関係は名称変更のみ。
- ・医師事務作業補助者の学びは現状コース制になっているが、業界のニーズが高いため、「医師事務作業補助概論（仮称）」を共通科目として配置することを検討している。
- ・「医療PCインストラクション」を削除し、「業界業種研究発表」を設けたいと考えている。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>「業界業種研究発表」は、教える側も気づくことがあるのでぜひ聞きたい。</p> <p>タイミングが合えば。</p> <p>それは、与えられたテーマについて発表するのか。</p> <p>事務系の職員との面接で、自分の得意なことやこれまでの成長について聞くと、意外に言えない。発表は自己分析の機会にもなるのでよいと思う。</p> <p>社会に出たら頑張っって当たり前、パーフェクトにできて当たり前だということを社会人基礎で教えてほしい。</p> <p>パソコン基礎演習では、Teams などのコミュニケーションツールも入ってくるのか。</p>	<p>開講時にはお招きしてもよいか。</p> <p>内定が決まった学生が、その分野に特化した学びを深めて発表するケースもある。</p> <p>テーマから展開し、それ以外のところにも興味を持たせたいという意図もある。</p> <p>ワード、エクセルにプラスアルファする部分を現状に即して変えていく必要があると考えている。</p>

◎医療事務 I T 科・診療情報管理科・診療情報管理専攻科・医療事務科

○三宅学科長より、資料 6-2～6-5 に基づき以下の説明が行われた。

- ・医療秘書科も共通だが、2 週間の実習でも単位が取れるように医療事務 I T 科・診療情報管理科とも 2 年次の病院実習を減らし、それに伴い実習指導を早めにスタートする形にしている。
- ・「I T パスポート」の取得を見据えた科目の創設を検討している。その関係で医療事務 I T 科の「医療サービスと品質マネジメント」、「病院管理と診療報酬制度」の統合を検討している。
- ・「I T パスポート」は、医療事務 I T 科では 1 年の後期と 2 年の前期、診療情報管理科は 2 年の前期・後期で配置して、両学科で取得できる環境を用意したいと考えている。
- ・医療事務 I T 科では、来年度から「情報セキュリティ概論」の授業が始まる。
- ・パソコンに関しては何を学ぶのかが分かりやすいようにワード、エクセル、アクセス等の名前を入れた。
- ・診療情報管理実習の単位は状況を見て減らすかどうか検討中。
- ・診療情報管理専攻科は、「医療情報技師概論」を選択から必修にする予定。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>「ITパスポート」は賛成。「医療サービスと品質マネジメント」は、レベル設定や内容が難しいと思うので、検討してほしい。</p> <p>IT化が進むと病院にもSE的な部署が必要になる。医療事務や病院のことを知っている人が、ITに特化していくと病院としては非常に使いやすい。</p> <p>オンライン資格確認が始まると、保険証の確認などの事務業務がかなり変わってくる。日本全体でIT化が進むと、レセの形も変わるし、受付も要らなくなる可能性がある。教育もそれに少しずつ近づいていかないといけない。職業実践の話も、精神論ではなく、次世代のことを描けるような内容にしたほうがよい。</p> <p>退学者が減少した理由はどう見ているか。</p> <p>ホスピタルコンシェルジュの役目を必要とする医療機関がどれくらいあるかが不安。患者様の秘書的なものをイメージする学生も出てくると思う。</p>	<p>そういう出口を新しく開拓していきたい。</p> <p>例年、入学後半年ぐらいに退学者が多いが、昨年はコロナの状況に不安を感じ、思いとどまった学生もいた。オンライン授業が始まり、学校に来なくても授業を受けられることも理由の一つ。高等教育の無償化で、経済的理由での退学がほとんどなくなった。</p> <p>これは富裕層へのアプローチだと思うので、特室があるところとか外国人が増えているところが欲しいと思う。外国語ができれば一番よい。</p>